

ム乞を記附御旨るた見を供子と人婦は方御の文注御り依に告廣此

行發(日廿月五)回二月毎

高し絶卓然超に中誌雜學女の多數今方
賴信の湖江でし献貢に道斯く長實誠尙
るす期其しな者く若に鑑女事るせ博を
民國るな誠忠ひ養を女士るな淑貞は處
りあにるむしらた母慈の

津趣豊材料
々味富料

鑑

女

婦道
の鑑
の美文

第一貳百五拾參號(廿日)の目次大要を見よ

一

●廿四冊(年)貳圓拾錢郵稅不要●

定價

●一冊金拾錢●
●六冊(月分)三ヶ月五拾七錢●
●拾貳冊(年分)壹圓拾錢●

所行發
地築京東二
會株式

部版出社光國

丁

- ◎矢島星路院三刀自骨像○東京第一高等女學校卒業生及びナイヤから眞景○
- ◎女子に高等女學校以上の教育の必要なきゝ……篠田女子高等師範學校教授○
- ◎女學校の學制について……天野法學士○
- ◎まことの母……救僕生○近吉勇婦百譚……黒金子○
- ◎グリセル、ベーレー夫人宮室さだ子○家庭改良意見總部武者五郎○
- ◎禮節心得草……大谷喜代子○產所式……有住常子○
- ◎たいごころ……石井湧太郎○ナイアガラの大瀑……永済生○
- ◎蘭茶話……YT散人○大和めぐり……井上頼文○
- ◎花かたみ……白松園主人○あなば……藤の舎○
- ◎麗夜……小畑いく子○小桃源記……清水橋村○
- ◎村岡勤王談……黒櫻○長歌新體詩數首○
- ◎短歌數十首……東久世伯外諸名家○
- ◎内報外報數十件○
- ◎落葉籠……讀者○
- ◎日繪の説明○
- ◎表裝は○
- ◎美○

乞を記附御旨るた見を供子と人婦は方御の文注御り依に告廣此

會習講期夏子女

● ● ● ● ● 會員募集

本年夏期休暇を利用して女子の爲に講習會を開く希望の者は速かに申込
まるべし

學科と講師

- | | | |
|-----------------------|-------------|-----------|
| 一 教 育 學 | 女子高等師範學校助教授 | 東 基 吉君 |
| 一 各科教授法 | 女子高等師範學校助教授 | 東 基 吉君 |
| 一 日 本 歷 史 | 日本女子大學校講師 | 岡 部 精一君 |
| 一 西 洋 歷 史 | 在大學院(西洋史專攻) | 本 多 濟 次郎君 |
| 一 社 會 倫 理 | 哲學館講師 | 文 學 士 |
| 一 心 理 學 | 女子高等師範學校教授 | 文 學 士 |
| 一 和 歌 變 遷 史 及 和 歌 作 法 | 哲學館講師 | 文 學 士 |
| 一 文 學 士 | 野 田 義夫君 | 東 基 吉君 |
| 一 文 學 士 | 雀 部 顯宜君 | 東 基 吉君 |
| 一 文 學 士 | 尾 上 八郎君 | 東 基 吉君 |

(追テ通知ス)

會場（追テ通知ス）

一科金壹圓五十錢二科兼修金貳圓五十錢

申込規則 詳細ノフハ規則書ニアリ郵券二錢ヲ送ラレヨ
七月十五日迄入會ノ時金五十錢(講習料ノ内)ヲ添フベシ

會員募集

東京都富士見町五丁目十三番地

此廣依に告御文注方は婦人と子供を供する見を記附御旨を乞ふ

主任石井泰次郎君 講義錄本口繪集募員會

○前期第壹號

六月五日發行

○會則

○會員へは毎月一回發行の本講義錄を配布すべし
○入用の向は二錢郵券を添へて申込まは直ちに郵送すべし

明治三十五年六月開始○修業期間 前期一ヶ年、後期一ヶ年○入會金三拾錢○會費一ヶ月前金貳拾錢、三ヶ月前金五拾五錢、六ヶ月前金壹圓十錢、一ヶ年前金貳圓拾五錢、郵券代用は一割増の事、猶委曲は會則一覽すべし

類學大學生人
教室藏直朝臣倉時代料理
其一宮內省御厨子所預直朝臣御臺調進圖
御凱旋日實地演習高橋宗鎌

日用惣菜 ○ 交際料理 ○ 茶事
懷石 ○ 儀式料理 ○ 諸菜切方
○ 食品吟味 ○ 支那料理 ○ 西洋料理 ○ 食堂心得 ○ 雜錄

東京京橋區木鈴町拾番地
日本大割烹學會

(號六第一卷二第一もと子と人婦)
(行發日五同一月毎) 行發日五月六年五十三治明

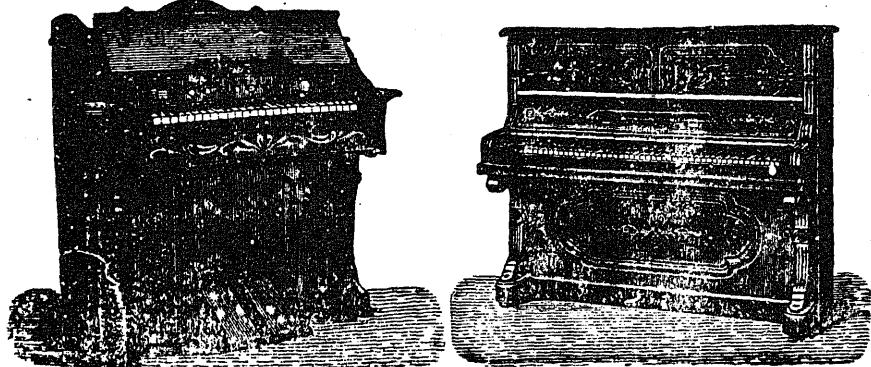
附 險 保
琴 風 葉 山



船來品金八圓以上百五拾圓迄各種

○洋琴 金參百圓以上貳千圓迄各種

●右の外兩用風琴、吹奏琴ハーモニカ、フランジヨーレット其他各樂器并に和洋音樂書各樂器附屬品各種



新 刊 廣 告

(ヨキ號略信電) (番九廿百五橋新話電) 番十川區京東京地三町竹橋共益社樂器店